

Rマツピーと図面を重ねる前に確認すること

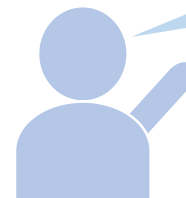
① 所有している図面全ての縮尺(寸法)を合わせること

全ての縮尺を統一し、寸法を合わせて重ねられる状態にすること

② 調査地の位置を特定する際は、
必ず調査地にとって不利側となるように合わせること

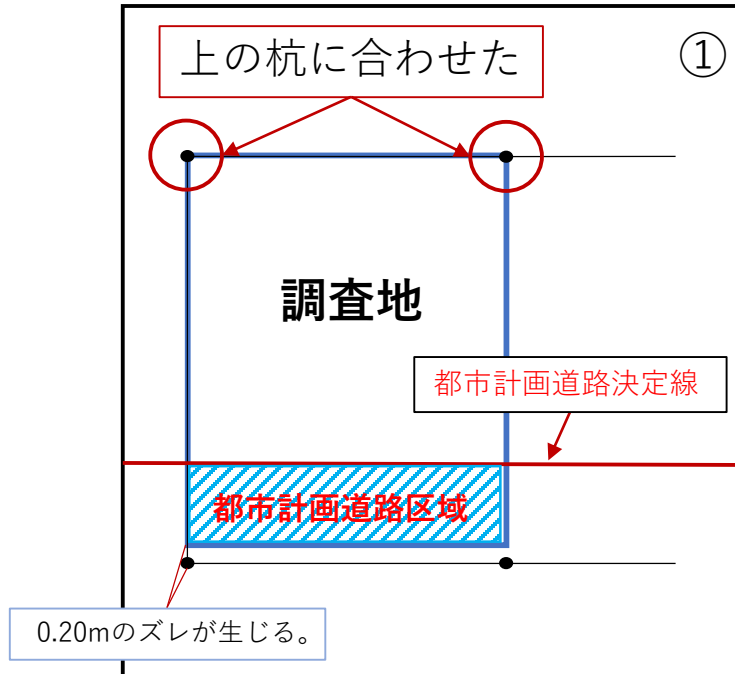
※境界点とは、市が道路境界として定めている杭等の位置を示しているものです。境界調査図で市杭・市鋸・民杭・図上点等様々な種類の標で境界を定めていますが、現地には杭等が存在しない場合があります。

吹き出しの中も重要だから
ちゃんと読んでね！

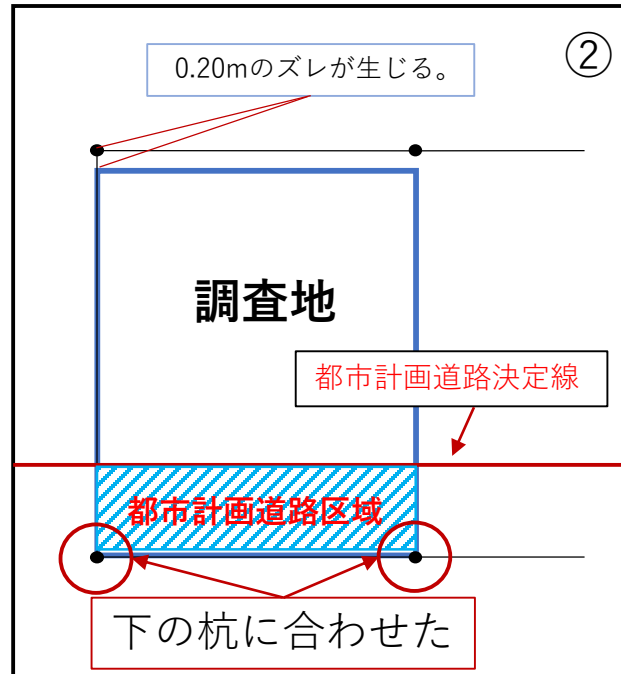


不利側についての考え方

調査地の位置を特定する際に、道路境界線と調査地図面の杭・外形が完全に一致しない場合は、**調査地に対して厳しい制限の割合が大きくなるように（不利側）**合わせます。不利側に合わせることで、都市計画道路の抵触や制限超過などの問題が発生するリスクが低くなります。

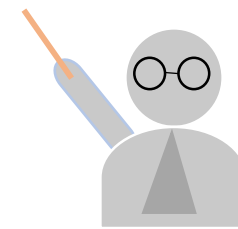


①上の杭で合わせた場合



②下の杭で合わせた場合

左図のように、測量精度の誤差により、測量成果とRマップ（区域線図）の境界点とズレが生じる場合があります。その場合、**調査地に対して厳しい制限の割合が大きくなるように（不利側）**合わせます。左図の場合、**都市計画道路が調査地に対して抵触する割合が大きい方が不利側**と考えられるため、②の合わせ方をします。



※都市計画道路と同様に用途界と防火界も不利側に考えます。

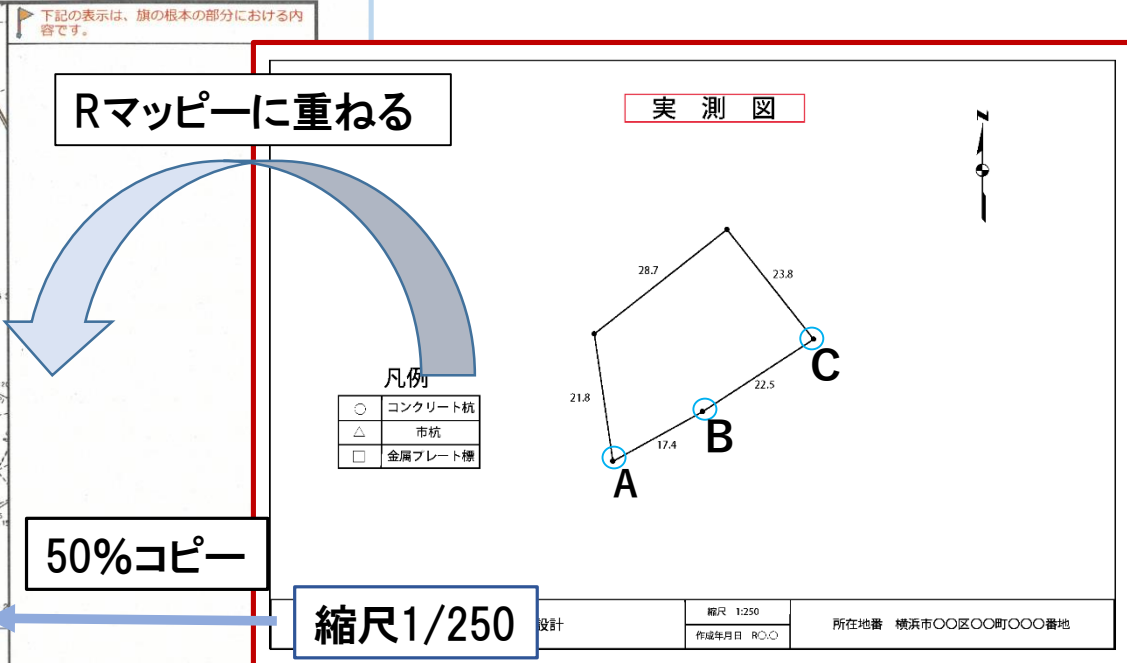
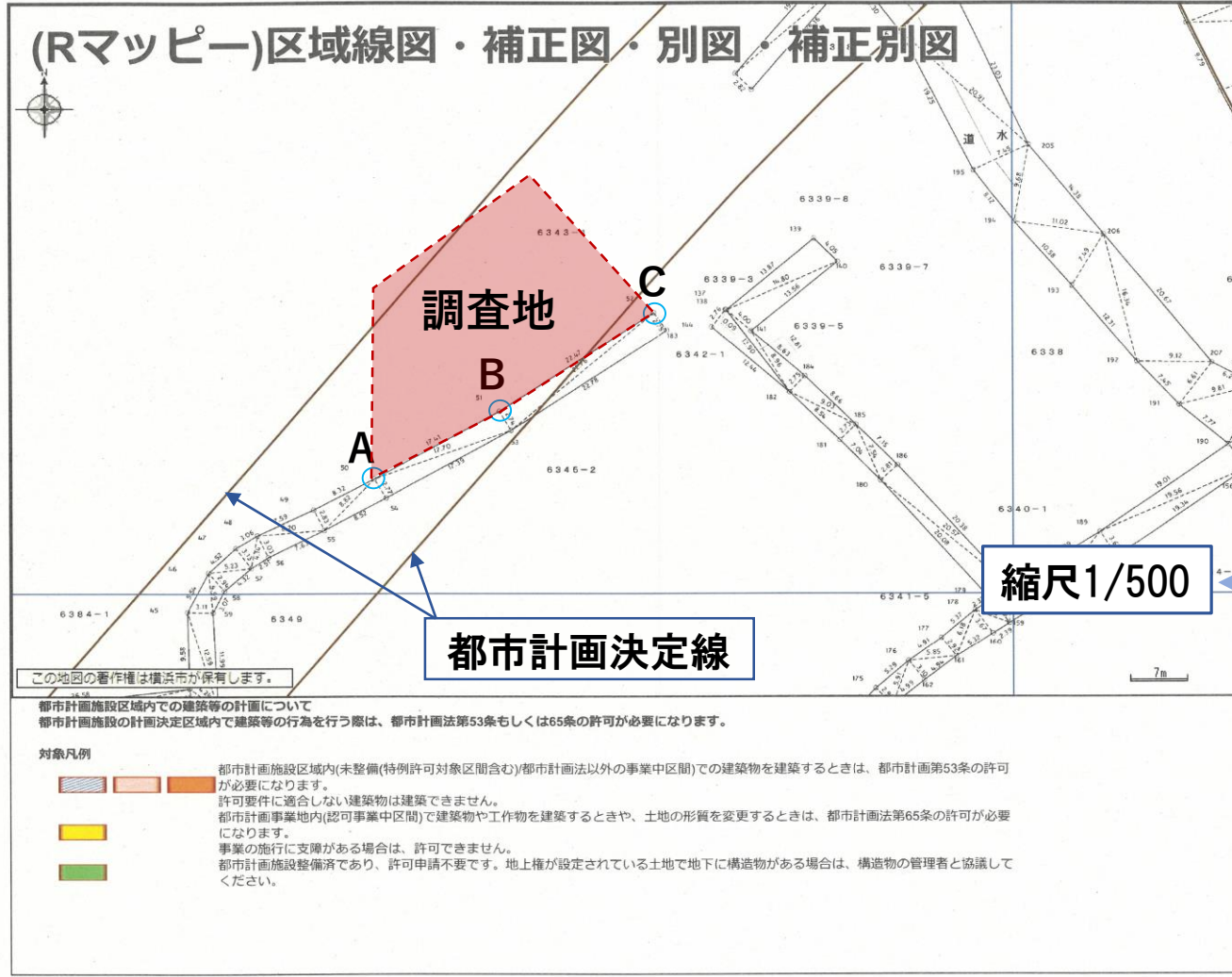
用途界：厳しい用途制限の割合が大きくなる方が不利側です。

防火界：厳しい防火制限の割合が大きくなる方が不利側です。（防火地域＞準防火地域＞防火指定なし）

Rマップーに調査地図面を重ねたい。そんなときは・・・

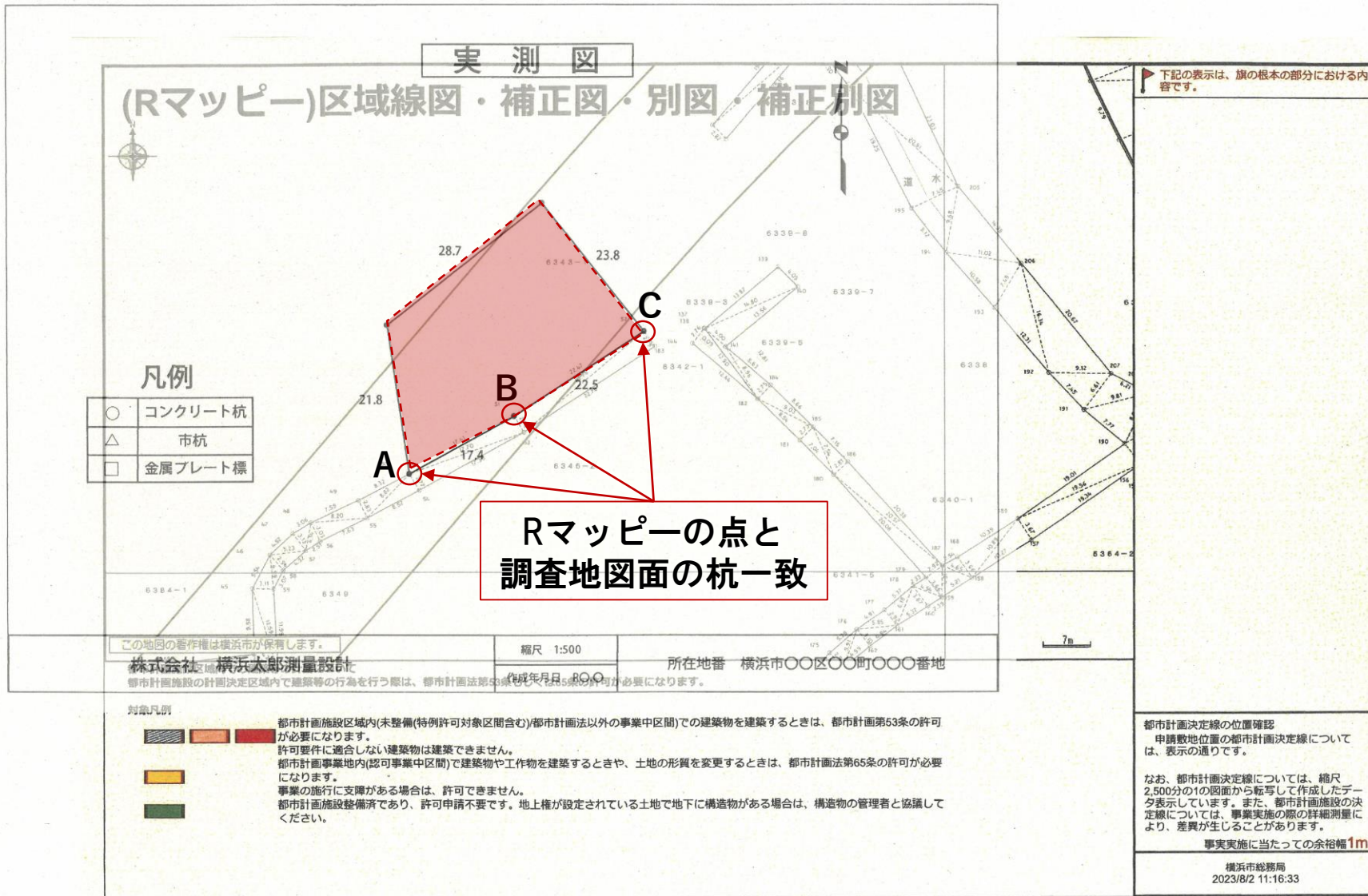
Rマップー（区域線図）と調査地図面の縮尺を合わせ、両図面の点と道路境界線を一致させて重ねる。

(Rマップー)区域線図・補正図・別図・補正別図



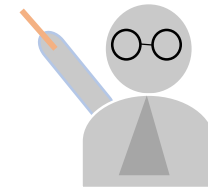
どうすればRマップーに調査地図面を重ねられるかな・・・？
縮尺を合わせないとなあ。

Rマップー（区域線図）

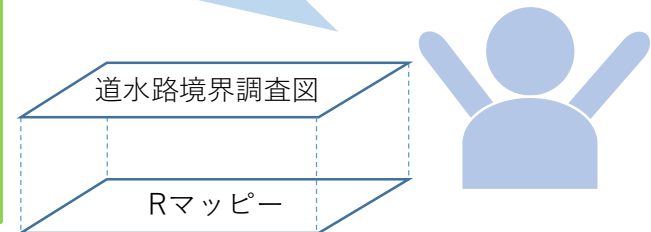


Rマップ（区域線図）+ 調査地図面

Rマップの境界点と調査地図面記載の杭を一致させることで調査地図面と重ねることが可能になります。
杭から杭までの距離を要確認！
 ±0.25mは一致と考えます。



調査地図面に**横浜市が定める境界点**を載せることで位置特定ができるんだ！図面を重ねて完全に一致しなかった場合は、**不利側に合わせれば**、今後精度誤差によるズレが生じても、都市計画道路の抵触や制限超過などの**問題が発生する確率が低くなる**ね！



重ね図イメージ